

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

4月号主な内容

- 1面
 - 平成30年度卒業式
 - 昭和大学大学院修了式
 - 昭和大学助産学専攻科修了式
 - 医学部附属看護専門学校卒業式
- 2面
 - 横宏太郎歯学部部長就任の挨拶
 - 大学院留学生修了証授与式
 - 就任のお知らせ
 - 昭和大学サポート寄付制度
 - 上條記念館座席プレート申込み状況
- 3面
 - 卒業生・修了生一覧
 - 平成31年度入学試験結果(選抜Ⅱ期)
 - 上條記念館グランドオープン記念公演のお知らせ
- 4面
 - 昭和大学の思い出
 - 公開講座開催予定表

【問合せ先】

【本紙について】総務課出版・フォト係
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp
 【各種募金・寄付・90周年事業について】企画課
 03-3784-8387
 【学事について】学務課、大学院課、入学支援課
 03-3784-8022(旗の台)
 0555-22-4403(富士吉田)
 045-985-6503(横浜)
 03-3784-8026(入学支援課)

平成30年度

卒業式

医学部 第87回
 歯学部 第51回
 薬学部 第19回
 保健医療学部 第19回



上條賞を受賞した見代健太さん(医学部)

平成30年度卒業式が3月7日、保護者、来賓、学園関係者が集まるなか、横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市西区)で挙行され、医学部116名、歯学部94名、薬学部195名、保健医療学部163名(看護学科101名、理学療法学科37名、作業療法学科25名)の合わせて568名が新たな門出を迎えた。

式典は小出良平学長から各学部の総代に学位記が授けられ、その後小出学長の告辞別掲が行われた。さらに在校生代表から送った卒業生に贈られ、それに対し卒業生代表は答辞で「至誠一貫の揺るぎない信念のもと自分たちが中心となつて昭和大学から発信する医療の和を全国へ、そして世界へと広めていくことが私たちの使命だと思います」と抱負を述べ、これまで支えてきてくれた多くの方へ感謝の意を表した。



答辞



学位記伝達式

行われ、それぞれに賞状と幅が贈られた。また、開式にあたっては包括連携協定を締結している洗足学園音楽大学の卒業生でオルガン、高さ・幅ともに12mにも及ぶパイオルガンで演奏を行った。さらに式の終盤には卒業生に向けて、グリークラブによる卒業ソング斉唱や応援指導部による卒業生へのエール、そして昭和大学管弦楽団と同OBOG会による送別の演奏が行われ、盛会の内に閉式した。

式終了後は各学部による学位記伝達式が行われ、卒業生一人ひとりに学部長から学位記が手渡された。

【上條賞】右から

保・鈴木 哲理
 業・森中 運香
 齒・大竹 暹開
 医・見代 健太



【上條旗ヶ岡賞】右から

保・皆川 菜永歩
 業・藤村将次(陸軍式野球部)
 齒・寺内晴香(卓球部)
 医・本多真希
 (バスケットボール部)



昭和大学大学院修了式
 平成30年度昭和大学大学院修了式が3月15日、上條講堂で挙行され、医学研究科43名、歯学研究科26名、薬学研究科9名、保健医療学研究科10名の合わせて88名が所定の課程を修了した。小出良平学長は告辞で「飽くなき探求心とみなぎる活力を生かし、指導者として後進の育成と自身の研究を継続してほしい」と述べた。式典では、在学中に学業・人物ともに優秀であった卒業生に贈られる上條賞の授与も行われた。



保・藤原 浩樹さん
 業・中野恵理子さん
 齒・周 君さん
 医学研究科 関水 壮哉さん



育さん、同窓会長賞に古屋柚育さんが選ばれた。

学長告辞 小出良平



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、本学の全課程を修められ、本日晴れて卒業式を迎えられました。

心よりお祝いとお慶びを申し上げます。またこれまでのご成長を見守ってこられましたご父母の皆様におかれましては、お喜びもひとし

おかと存じます。昭和大学は、医・歯・薬・保健医療学部の四学部、六つの学科から成ります。医学部の皆さんは八十七回生として、歯学部

の皆さんは三十七回生として、薬学部の皆さんは五十一回生として、保健医療学部の皆さんは十九回生として、本日それぞれの学部学科を卒業され

た。明日からは、学生ではなく、教えられる立場から教える立場になります。医療者としての側面から、自身の立場が医療者に変わることをご認識して下さい。

また、本日より皆さんの背中に輝いておられます。これから何処に行っても、あるいは自己紹介する時も「平成三十二年昭和大学卒業」となりま

す。将来皆さんが素晴らしい相手をする心、「思いやる心」が肝心であります。この心をお忘れずに、相手の立場になって至誠一貫の精神を体

現する医療人として社会に貢献することを期待しております。

「言うは易く、行うは難し」

ある。至誠一貫まことを尽くして社会に貢献する医療人を目指して下さい。この「まことを尽くす」ということは、

「言うは易く、行うは難し」

「言うは易く、行うは難し」

「言うは易く、行うは難し」

す。自らの上を目指して、研究者、あるいは良い医療人として社会で活躍していただければ、本学の評価も向上します。我々教育者の大いなる喜びとなります。

これから医療人として社会に出られる皆さんは、日進月歩の現代医療に後れをとることなく、ひいてはこれを先導していかねばなりません。

卒業後も、昭和大学宣言の三つ目であり、私は生涯にわたって学習・研究を怠

りません。

す。これを忘れずに、生涯学習の意欲と探求心を持つて日々研鑽して下さい。

結びになりますが、昭和大学の建学の理念は「社会に貢献する優れた医療人の育成」であります。

卒業生の皆さんが、立派な医療人として、そして誇り高き「昭和人」として活躍し、ご発展されることをお祈り申し上げます。

申し上げます。

医学部附属看護専門学校卒業式

医学部附属看護専門学校卒業式が3月1日、上條講堂で挙行され、152名が卒業を迎え、久光正学校長から総代に卒業証書が授与された。

久光学校長は告辞で「いつも前向きな力強い心の姿勢を持ち続けていただき、そのような看護士としての目標、理想をしっかりとイメージしてください。そして、皆さんが素晴らしい人生を築けることを祈願し

ていきます」と述べ、3年間の授業や実習を通して多くの知識、技能、人となりを得たことを祝福した。

卒業生代表は答辞で、在学3年間の思い出や多くの先輩から学んだ経験などを涙ぐみながら、今後私たちが支えとなるように、共に働く医療者からも信頼される看護師を目指し日々精進していききたいと思

っています」と述べ、3年間の授業や実習を通して多くの知識、技能、人となりを得たことを祝福した。



卒業生代表の答辞